

震度5弱以上の地震における初動の行動指針

地震発生・緊急地震速報受信

大半の人が恐怖を覚え 物につかまりたいと感じる揺れ

揺れている間は
基本的に動かない

身の安全を確保
(特に頭部)

可能な場合は
ドアを開けて
脱出口を確保

揺れが収まったら一次避難場所
(教育学部棟正面玄関前)へ避難

二次避難場所
(附属図書館前広場
(本郷通り側))へ避難

【避難の判断は、原則的に職員等が行う】

○逃げ遅れ、閉じ込められた人が周囲にいないか確認

※ 障害のある学生・教職員への支援

○負傷者が周囲にいないか 確認

→ 負傷者の救助が手に負えない場合は、建物(号館)担当者に申告

○火災が発生していないか確認

→ 初期消火に手間取るようならば、身の安全のために避難を優先

○在館者の点呼(人数と氏名確認)を、一次避難場所(具体的名称)で行う

○建物(号館)担当者の指示に従う

○勝手にキャンパス内を移動しない

○必要に応じて、再度点呼(移動間にはぐれた者の有無の確認等)

建物の立入可否、帰宅可否、備蓄物資、復旧などの情報収集・発信について

教育学部 災害対策本部で行う → 本部の設置場所は教育学部棟、情報の掲示場所は教育学部棟玄関ロビー

※必ず安否確認に回答、緊急の場合は部局災害対策本部に直接連絡→内線23903、5841-3903、080-3447-6174